資料３－３

ジョブ・カードの様式、活用方法等の見直しに関わるジョブ・カード制度推進会議における主な意見

※　第４回ジョブ・カード制度推進会議（平成 28 年 10 月 12 日）関連発言（発言順）

〇文科省星川室長補佐

学校法人秋葉学園千葉情報経理専門学校からは、「様式１－２　キャリア・プランシート」の「将来取り組みたい仕事」「仕事を通じて達成したい目標」の記載欄をパッと書けるような人はなかなかいない、「弱点を克服した」「問題点を解決した」といった経験談を引き出すようなことを書く欄があればいいとの意見があった。

〇伊藤課長

創造社デザイン専門学校では、就職活動ツールとして「ポートフォリオ」、在学中に作成したデザイン系の作品をいろいろ編集したものを応募先企業に示している。ジョブ・カードの評価シートは、就職活動で活用されるところまでには至っていない。

しかし、インターンシップ受け入れ企業が正に求人企業と重なっており、ジョブ・カードによる能力評価が就職活動に有効であるとの認識は学校側も持っている。そういった点を伸ばしていくために、どのような工夫・支援が必要かといったことが課題である。

〇菊池委員代理

大学生や専門学生は、就職という大きな目的に向かってキャリアを積み上げていくが、ジョブ・カードはそのキャリアをデータベース化し、自身を立体的に表現できるツールとなっていくのではないか。

これを進めていくためには、就職のためにどう活かしていくのかを実感させることが一番大切である。履歴書への流用の話もあったが、以前の会議でも発言があったように、エントリーシートへの流用についても本格的に考える必要がある。

また、一番就職に活用されている民間の就職サイト（リクルートサイト）が触媒になって企業からジョブ・カードが評価されれば、大学時のプラットフォームと社会人としての企業のプラットフォームがシームレスに使われるようになり、ジョブ・カード制度は長い目で活用されるのではないか。

〇五十嵐委員

大学にいる者としては、こういう好事例のパターンが幾つか出てくると、ワンパターンに限られたものになってしまうのではないかと懸念する。いろいろと選択肢があって、大学の実情に応じて使えるような形になればいいと思う。

高度経済成長期ではなく、不安定要因の多い環境の中での人材養成においては、特定の

スキルや型にはめるような使い方は危険性もある。多様な人材をどのように採用してもらえるか、産業界も含めてジョブ・カードの活用を考えていただきたい。

○大久保委員

ジョブ・カードに入力したとおりの内容が印刷されて出てきても面白くない。

ジョブ・カードはキャリアのデータベースだから、例えば学校で学ぶ、訓練を受ける、何かを習いに行く、と様々な活動をするごとに、教育関連機関から提供された情報によって、ジョブ・カードがどんどんリッチになっていく。それがどれだけできるかというのは大事なポイントである。

もう一つは、エントリーシートの話も出たが、出力書式をどうするかという点である。

データベースがどんどんリッチになっていけば、出力形態は様々な形が考えられる。

一回入力した情報なのですから、多目的に活用したいと思うわけで、エントリーシートにチェックを入れれば、標準エントリーシートの形で出てきて、あと志望動機だけを入れたらエントリーシートにもなっているとか。あるいは先ほどの話ですが、ポートフォリオを示すときにも使えるとか、訓練を受けるときにも最初に自分がそれを整理して使えるとか。ユーザーからすると、いろいろな出力ニーズがあるのではないかと思っています。その出力書式に変換して印刷できるというところを充実させると、個人のメリットが出てくるのではないかと思う。

ジョブ・カードのサイトで入力していくと、個人だから、なかなか書けないとか、どう書いていいか分からないなど、迷うところが結構あるのではないか。

ジョブ・カードを書きながら、様々なキャリアをプランする上で必要な情報源や、あるいはそれを考えることを支援するためのツールを（サイトからのリンクにより）使いながら作っていくというイメージを広げていきたい。厚生労働省が一から立ち上げる必要はなくて、民間が作っているものをうまくつなげて、サイトの機能を高めていくようなことを考えていただきたい。

○伊藤課長

ジョブ・カードの様式・標題については、本会も含めて関係者や識者の皆様から御指摘いただく中で、今、委員から御指摘いただいたカスタマイズも一つの課題であると認識している。ジョブ・カード様式は、昨年の能開法の改正により、職務経歴等記録書ということで告示様式として定めた。しかし、実際の運用に当たり、全くカスタマイズの幅がないと考えているわけではない。告示で定められた様式をベースとしながら、使いやすい表示のレベルでの工夫がありうる。